

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)統合新病院整備工事 立体駐車場	階数	地上2F
建設地	伊丹市昆陽池1丁目100番他42筆	構造	S造
用途地域	第2種中高層住居地域、第2種住居地域、準住居地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2022年3月2日
敷地面積	2,406 m ²	作成者	株式会社浦野設計
建築面積	1,439 m ²	確認日	2022年3月2日
延床面積	2,929 m ²	確認者	株式会社浦野設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

個別計算

①参照値: 100%

②建築物の取組み: 77%

③上記+②以外の: 31%

④上記+: 17%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

機能性	N.A.
耐用性	3.1
対応性	2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.2

生物環境	3.0
まちなみ	5.0
地域性・敷地外環境	1.0

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

建物外皮の	N.A.
自然エネ	N.A.
設備システ	N.A.
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

水資源	3.0
非再生材料の	3.4
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8

地球温暖化	N.A.
地域環境	2.6
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
西側住宅地へ音やヘッドライトの光を防ぐために建物西面に防音壁を設置。周辺住宅への配慮を行う。	なし
Q1 室内環境 対象外	Q2 サービス性能 開放性が高い建物で、居室無し。
Q3 室外環境(敷地内) 西側住宅地へ音やヘッドライトの光を防ぐために建物西面に防音壁を設置。周辺住宅への配慮を行う。	Q3 室外環境(敷地外) 壁面緑化や敷地内緑化により、周辺道路への圧迫感の軽減に配慮している。
LR1 エネルギー 開放性が高い建物で、居室無し。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材や再利用可能な部材の採用により、非再生資源の使用量削減に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される